

【2022/9/28-30】第2回 建設DX展（関西）に出展
BIMを活用したデータ連携による自動化で、建設業の生産性向上、廃材削減へ
～BIM設計-生産-施工支援プラットフォーム BuildApp で、内装・建具の各プロセスの効率化を支援～



■BIM積算-プレカット「BuildApp内装」

建設業界をアップデートする野原ホールディングス株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：野原弘輔）は、2022年9月28日から30日までインテックス大阪（大阪市住之江区南港北1-5-102）で開催予定の「第2回建設DX展（関西）」に、建設業界の生産性向上と廃材削減（CO2削減）を支援する **BIM設計-生産-施工支援プラットフォーム BuildApp（ビルドアップ）** を出展します。

（弊社ブース：インテックス大阪 2号館、小間番号3-30）

「BuildApp」が対応する、設計積算、生産、流通、施工管理、維持管理の各工程のサービスのうち、今回は積算と生産の工程にフォーカスし、**BIM積算・プレカット「BuildApp内装」と建具BIM-工場生産連動「BuildApp建具」**のサービス実演を予定しています。ご来場された皆さまには、BIMを活用したデータ連携による自動化で、内装・建具の各プロセスがどのように変わるかをご覧ください。

私たちは、政府による産業内のデジタル活用強化や2050年までのカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）¹宣言を踏まえ、DX²による生産性向上や廃材・CO2排出量の削減を目指す建設企業とともに、サプライチェーン³を変革し、業界をアップデートしたいと考えています。

●建設DX展（関西） BuildAppブースの見どころは、サービス実演（体験コーナー）と事例公開

1. BuildApp内装（ゼネコン～工事店～メーカーを結ぶプロセスの変革）

ARでのBIM-プレカット施工デモ、事例紹介

2. BuildApp建具（ゼネコン～メーカー～工場を結ぶプロセスの変革）

「建具施工図自動化」「建具BIM生産連動」のデモ、事例紹介

出展概要

1. 主な展示予定（弊社ブース：インテックス大阪 2号館、小間番号 3-30）



BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム BuildApp（ビルドアップ）は、2,500万㎡超（東京ドーム約535個分）の内装積算⁴実績と建具の豊富な施工実績、BIM⁵やデジタル技術を集約させています。

私たちが得意とする「内装・建具工事」の関係者を BIM 起点のデータで繋いで連携を生み、工程の可視化や業務の自動化により業界内の無駄を解消し、**サプライチェーン変革**により、生産性向上・廃材削減・CO2削減に貢献します。

（会場内のブース位置は、別紙を参照願います。）



1) BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム BuildApp（ビルドアップ）の全体像

設計積算、生産、流通、施工管理、維持管理の工程ごとに、お客様の課題やご要望に応じて、最適なサービス群をご用意しています。建設企業と共に、業界内の課題解決を目指しています。（詳細は別紙を参照）

BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム BuildApp が目指すこと	
課題	解決イメージ
生産性向上 （業務時間短縮、 人員稼働削減）	BIM データをすべてのプロセスに連携することで、以下を短縮 ● 見積り期間や施工時間、生産リードタイム ● 施工図作成など各種資料作成工程
廃材（産業廃棄物） と CO2 削減	● BIM・建材データの連携による設計段階での適切な材料試算、材料試算に連動した発注、設計段階での環境に優しい資材の提案・活用 ● 生産工程への情報連携による材料の切出し
各工程を通じた BIM の横断活用	● BIM を「BuildApp」上で各関係者が扱える情報に弊社が「翻訳」することで関係者間の「連携」を生み、BIM を活用しやすくなる

2) 体験コーナーでのサービスの活用イメージの体感

1. BuildApp 内装（ゼネコン～工事店～メーカーを結ぶプロセスの変革） AR での BIM-プレカット施工デモ、事例紹介
2. BuildApp 建具（ゼネコン～メーカー～工場を結ぶプロセスの変革） 「建具施工図自動化」「建具 BIM 生産連動」のデモ、事例紹介
3. VR コーナーデモ VR による最先端の施工管理 体験 空間キャプチャー技術が特長の「Matterport（マターポート）」体験

2. 弊社ブース情報と一般招待券がセットになった Web 招待券

<https://www.japan-build.jp/osaka/ja-jp/search-ex/2022/kdx/directory/details.org-c819ab5f-2bf5-40c3-81f6-c763533b5111.html#/>

3. 建設 DX 展（関西）について

イベント名	【関西展】建設 DX 展（RX Japan 株式会社主催ジャパンビルドー建築の先端技術展一内）
開催期間	2022年9月28日（水）～9月30日（金） 各日 10:00～18:00（最終日は 17:00 終了）
会場名	インテックス大阪（〒559-0034 大阪市住之江区南港北 1-5-102） ※インテックス大阪へのアクセスは、大阪（梅田）からの直通バスが便利です。 https://www.japan-build.jp/osaka/ja-jp/visit/access.html
弊社ブース	インテックス大阪 2号館、小間番号 3-30（会場内の位置は、別紙を参照）
入場料	5,000円（税込）※事前登録の場合は無料、 弊社 Web 招待券 で無料
WEB	https://www.japan-build.jp/osaka/ja-jp/visit/kdx.html

野原ホールディングス株式会社について

野原ホールディングスを中心とする野原グループは、「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」とのミッションのもと、これまで培ってきた知見をさらに磨き、未来につなげていくことで、より一層社会に貢献して参ります。

<https://nohara-inc.co.jp>



お問合せ先

【お客さまからの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
建設 DX 推進統括部
e-mail : info@build-app.jp

【報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
マーケティング部 (担当 : 齋藤)
e-mail : nhrpreso@nohara-inc.co.jp

¹ 政府は、2020年10月に2050年カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。同年12月には、経済産業省が中心となり、関係省庁と連携して「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」も策定しています。国土交通省からは、地球温暖化緩和策が発表されています。(<https://www.mlit.go.jp/common/001386820.pdf>)

² DX (デジタルトランスフォーメーション) とは、経済産業省に定義によれば「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」を指し、単なるデジタル活用とは区別されています。

³ サプライチェーンとは、商品や製品が消費者の手元に届くまでの、調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費といった一連の流れのこと。

⁴ 非住宅分野における内装工事の詳細は、建設産業担い手確保・育成コンソーシアムより発表されている「【内装仕上げ工事ガイドブック第13版】」を参照願います。 https://www.kensetsu-kikin.or.jp/database/pdf/%E5%BB%BA%E8%A8%AD%E7%8F%BE%E5%A0%B4%E3%81%A7%E5%83%8D%E3%81%8F%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE%E5%9F%BA%E7%A4%8E%E7%9F%A5%E8%AD%98%EF%BC%88%E5%86%85%E8%A3%85%E4%BB%95%E4%B8%8A%E5%B7%A5%E4%BA%8B%E7%B7%A8%EF%BC%88%E9%9D%9E%E4%BD%8F%E5%AE%85%E7%B7%A8%EF%BC%89%EF%BC%89_201912.pdf

また、積算とは図面などの設計図書をもとに建設プロジェクトで使用する材料とその数量を拾い出し (計算して)、建物を建てるのに必要な金額を算出していく作業を言います。

⁵ BIM (ビム/Building Information Modeling の略称) とは、建築物のデジタルモデルに、部材やコストなど多様な属性データを追加した建築物のデータベースを持たせ、設計・施工・維持管理の各プロセスを横断して活用するためのソリューションです。野原グループでは、2017年よりBIM事業に注力しています。